

岩手県感染症週報

平成18年第10週（3月6日～3月12日）

岩手県結核 感染症情報センター

第10週の概要

- 1類感染症
- 2類感染症
- 3類感染症
- 4類感染症

患者発生 の報告はありま
せんでした。

5類感染症（全数把握対象疾患）

- ・アメーバ赤痢の患者の報告が1例ありました。患者は30歳代の男性で、感染経路は不明です。

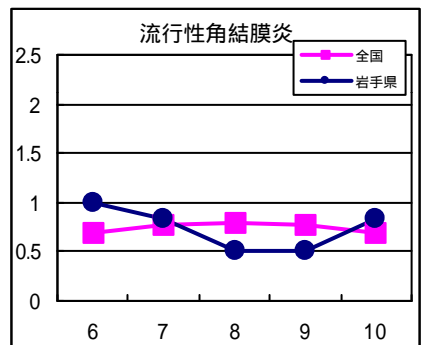
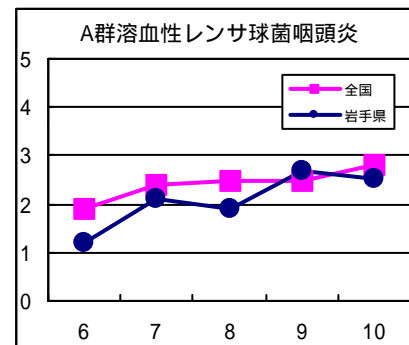
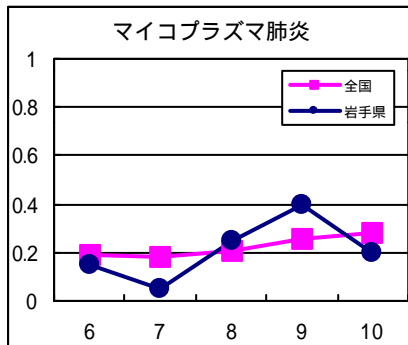
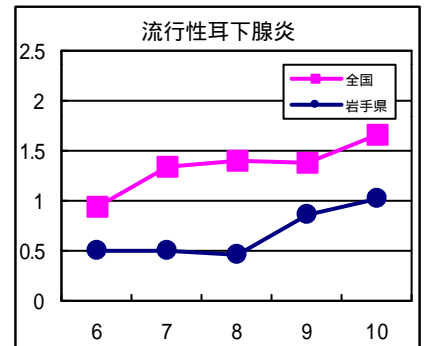
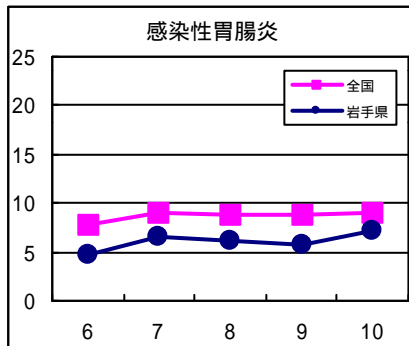
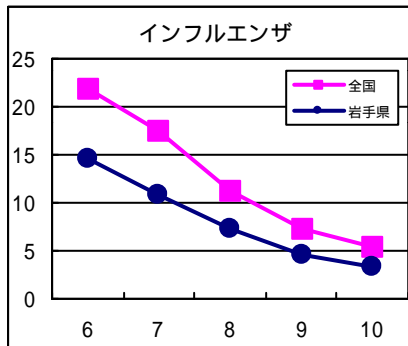
5類感染症（定点把握対象疾患）

- ・溶レン菌咽頭炎は、依然として各地で患者数が多い状態が続いています。この週に警報値（定点当たり患者数4.0人）を超えている地区は、北上（同患者数8.7人）、二戸（同患者数5.5人）地区です。一方、水沢、一関地区では2月以降患者報告数は比較的少なく、今後の動向が注目されます。全国的にも今年は患者数が多く、例年の2倍程度の患者報告数で推移しており、なおかつ、増加傾向にあります。
- ・インフルエンザは、2月上旬に流行のピークを越えてから患者数は順調に減少を続けています。学校などでは春休みに入り、集団における感染の機会は減少しますが、4月に新学期が始まると同時に再び流行が広がる可能性があるため油断できません。
- ・感染性胃腸炎は、1月以降減少しつつ増加傾向にあります。例年、3月にはいると患者数は減少に転じますが、今シーズンはまだその傾向にはありません。また、ノロウイルスによる保育園や老人福祉施設などでの集団感染事例も後を絶ちません。

ノロウイルスに感染すると、多くは38以下の発熱、嘔吐、下痢などの症状を呈しますが、感染しても無症状の場合もあります。無症状でもウイルスは便とともに排出され容易に感染源となりますので、基本的な手洗いや消毒の徹底が必要です。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		6	7	8	9	10		
インフルエンザ	岩手県	14.67	10.86	7.22	4.67	3.27	↘	
	全国	21.88	17.42	11.17	7.23	5.52		
咽頭結膜熱	岩手県	0.05	0.03	0	0.03	0.08	→	
	全国	0.26	0.28	0.28	0.33	0.38		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	1.18	2.1	1.92	2.67	2.51	→	
	全国	1.91	2.38	2.5	2.5	2.81		
感染性胃腸炎	岩手県	4.72	6.59	6.23	5.74	7.18	↗	
	全国	7.71	9.08	8.71	8.72	8.99		
水痘	岩手県	1.59	2.08	1.44	1.31	1.1	↘	
	全国	1.71	2.12	1.93	2.18	2.16		
手足口病	岩手県	0.08	0.15	0.13	0.15	0.13	→	
	全国	0.07	0.08	0.09	0.11	0.1		
伝染性紅斑	岩手県	0.13	0.08	0.08	0.13	0.1	→	
	全国	0.2	0.25	0.26	0.26	0.29		
突発性発疹	岩手県	0.44	0.41	0.41	0.23	0.51	→	
	全国	0.5	0.58	0.56	0.56	0.59		
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0.01	0.01	0.01		
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.15	0.13	0.33	0.28	0	→	
	全国	0.03	0.03	0.03	0.04	0.03		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.51	0.51	0.46	0.85	1.03	↗	
	全国	0.94	1.33	1.41	1.39	1.66		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02		
流行性角結膜炎	岩手県	1	0.83	0.5	0.5	0.83	→	
	全国	0.7	0.77	0.79	0.77	0.7		
RSウイルス感染症（患者報告数）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	310	357			0		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0	0.02	0.02	0.02		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0.05	0	0	→	
	全国	0.03	0.01	0.03	0.04	0.02		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.15	0.05	0.25	0.4	0.2	→	
	全国	0.19	0.18	0.21	0.26	0.28		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↗ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）		岩手県						全国	
分類	疾病名	(週)					累計	全国	
		6	7	8	9	10		10	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	2	7
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	10	80
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	9
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	3
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	0	6	83
四、 五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	1	1	13	115
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	5
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	6
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	0	5	42
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	3
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	0	26
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	26
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	1	12	195
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	2	11
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	5
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	0	1	17
	デング熱	0	0	0	0	0	0	1	6
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	1	0	0	0	0	2	5	101
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	6
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	7
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	1
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	2	7
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	5	75
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

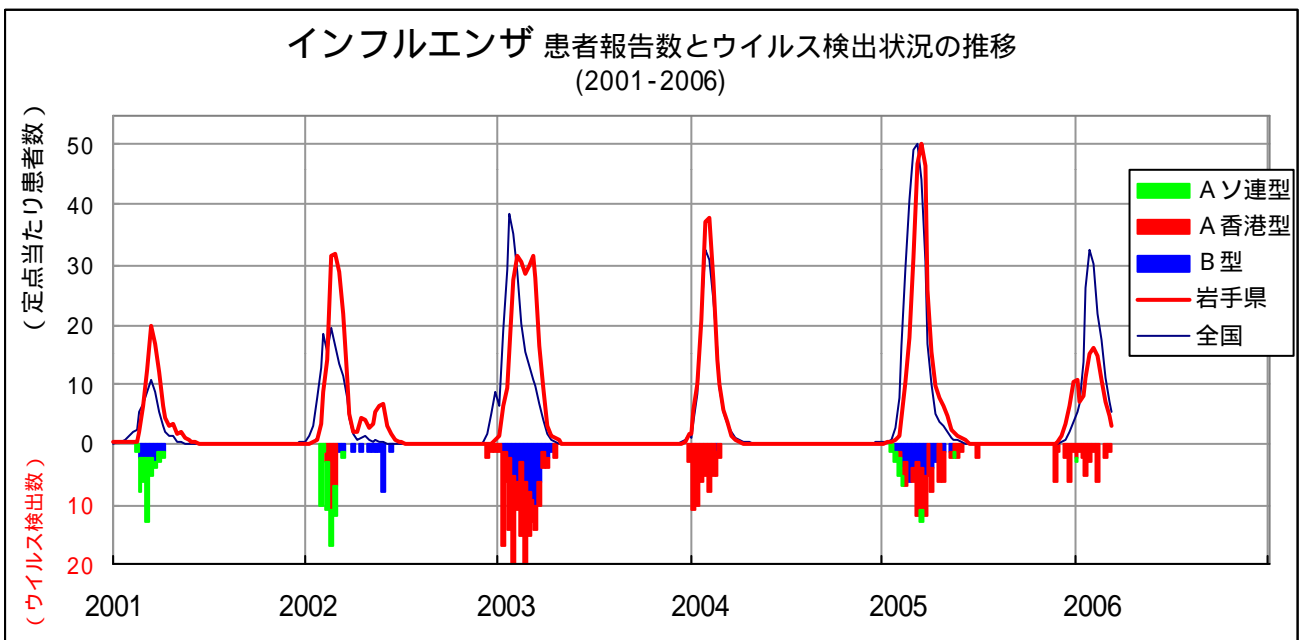
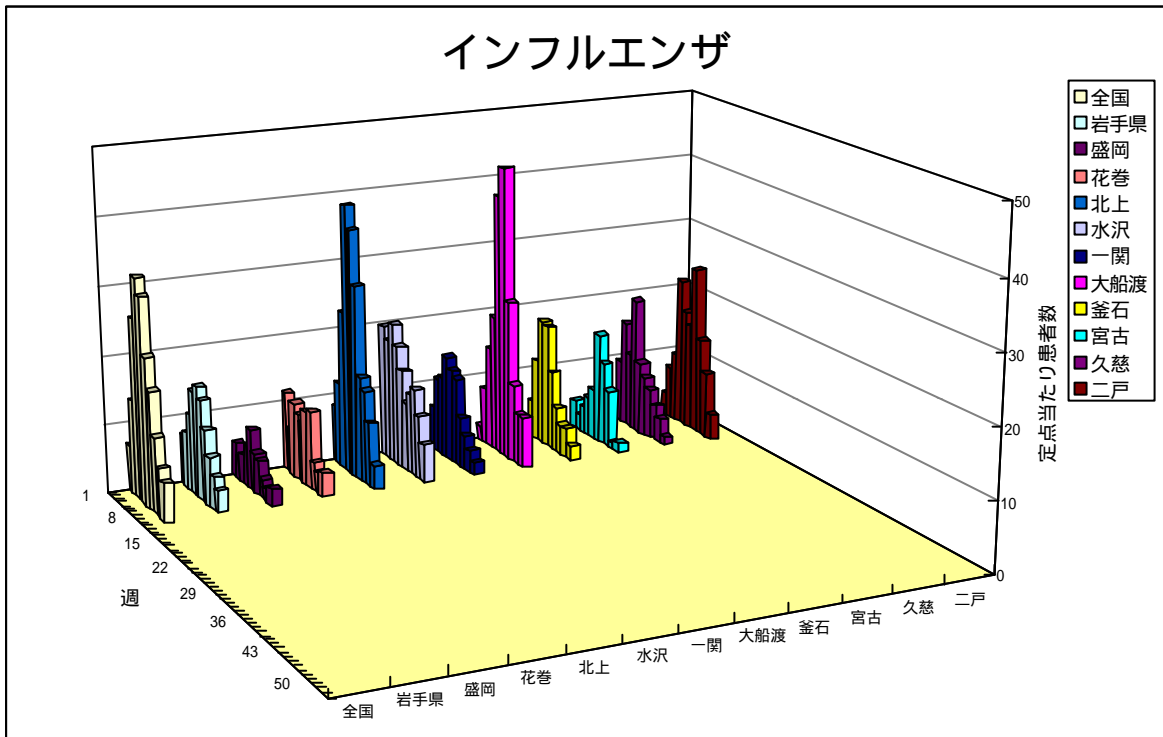
昨年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報では当面の間、改正前の分類による情報をお届けしております。
できるだけ早い時期に、新しい分類による情報をお届けするよう準備していますので、ご了承ください。

今注目の感染症

インフルエンザ

インフルエンザは、例年、12月頃から患者数が増え始め、2～3月が流行のピークであるが、今シーズンは、盛岡地区では、11月に集団感染による学校閉鎖措置がとられた小学校もあり、例年よりも早い流行状況となっている。12月には年末年始休などにより、一時患者が減少したが、1月初旬から下旬にかけて患者数は再び増加した。2月第1週をピークに患者数は減少を続けており、このまま流行が終息すれば、本年のインフルエンザの流行は例年よりかなり小規模であると言える。

環境保健研究センターの病原体検査では、11月にA香港型、12月にはAソ連型インフルエンザウイルスが分離検出されている。



病原体検出情報

- ・インフルエンザの患者の咽頭拭い液からA香港型インフルエンザウイルスを3例分離検出しました。
- ・感染性胃腸炎の患者の便からノロウイルス遺伝子型I Iを3例検出しました。
- ・流行性角結膜炎の患者の結膜拭い液から単純ヘルペスウイルスI型を1例分離検出しました。

医療機関からの情報

- 盛岡地区の医療機関（小児科）から
- ・先週から外来ではロタウイルスの胃腸炎が爆発的に増えてきている。ノロウイルスよりも激しい脱水症状で入院も毎日ある。水沢、北上地区でもはやっているようだ。

集団感染情報

インフルエンザ様疾患による施設閉鎖措置等の状況（3/15まで）

岩手県	盛岡	花巻	北上	水沢	一関	大船渡	釜石	宮古	久慈	二戸
58	17	3	6	4	6	12	0	4	1	5

感染性胃腸炎の集団発生

滝沢村内の障害者福祉施設（通所者38名、職員16名）
 3/10（金）から3/14（火）にかけて23名に下痢、嘔吐等の発症を確認。
 複数の有症者の便からノロウイルスを検出した。
 保健所において、施設に対し手洗い及び消毒の徹底等の二次感染予防対策について指導するとともに、感染症及び食中毒の両面から原因等の調査を継続中。

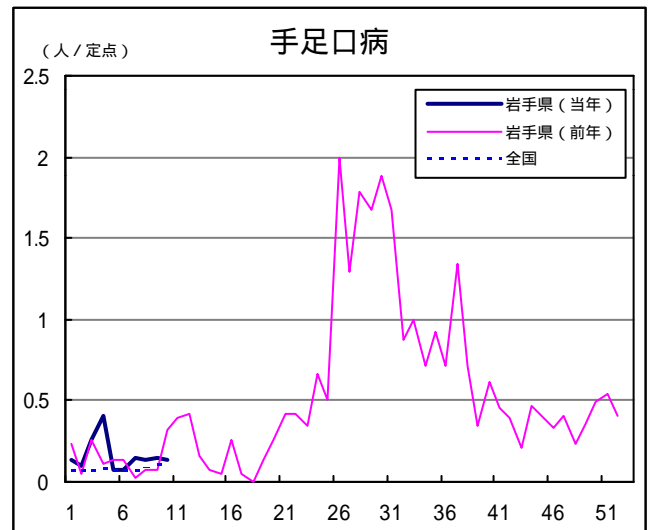
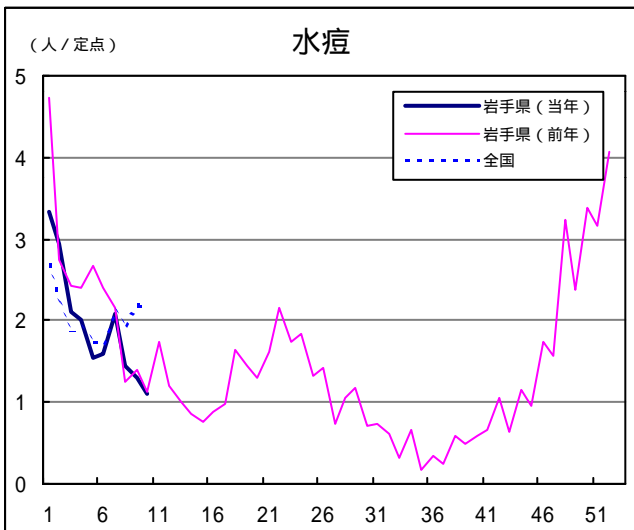
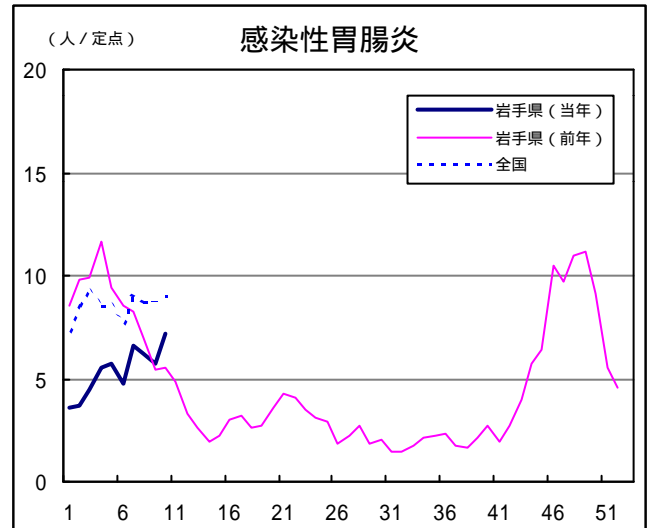
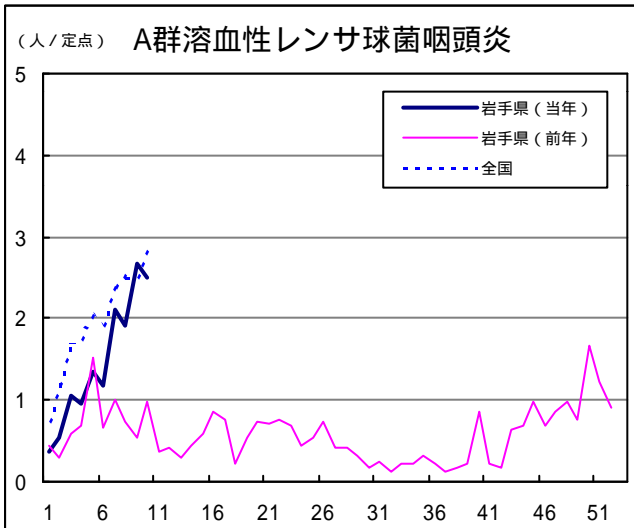
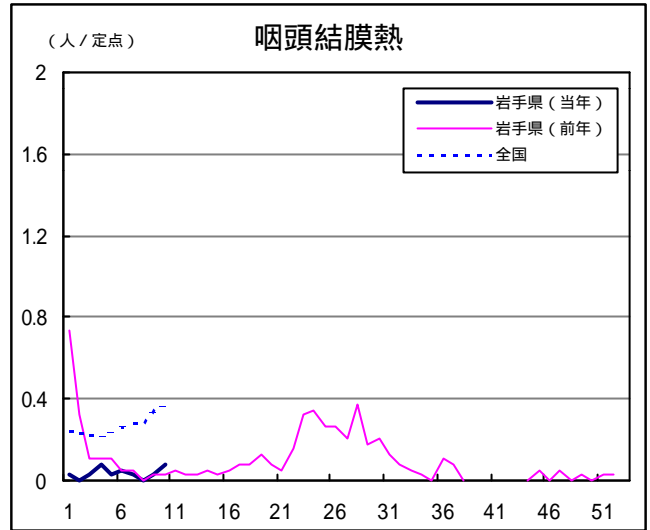
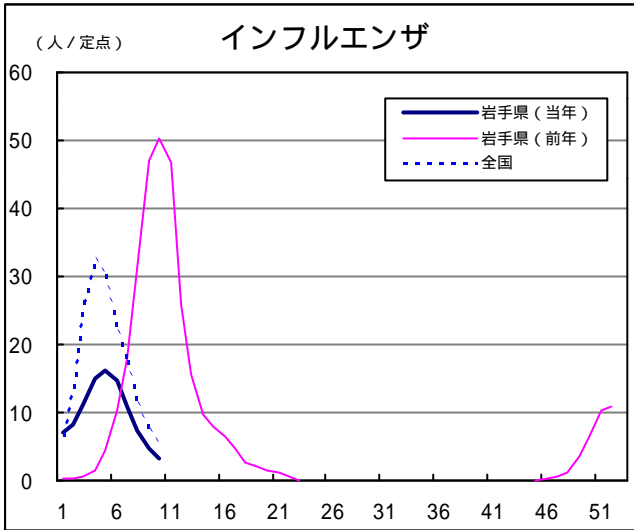
- ・集団発生の状況（感染症に限る）
 平成17年1～12月 16件
 平成18年（3/15まで） 8件（去年同期2件）

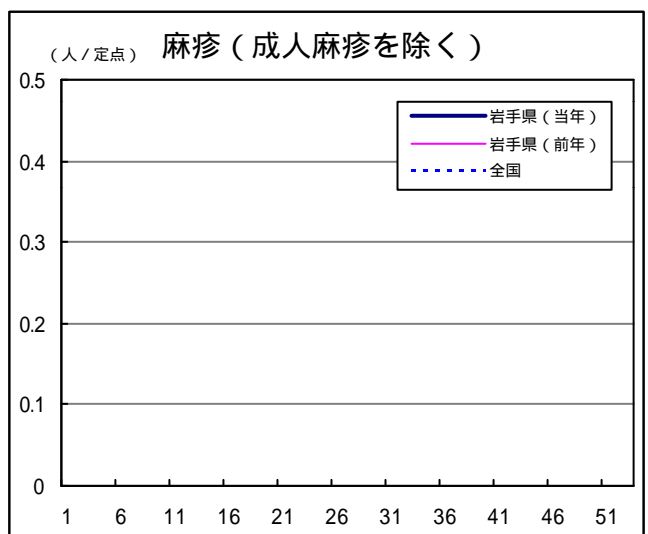
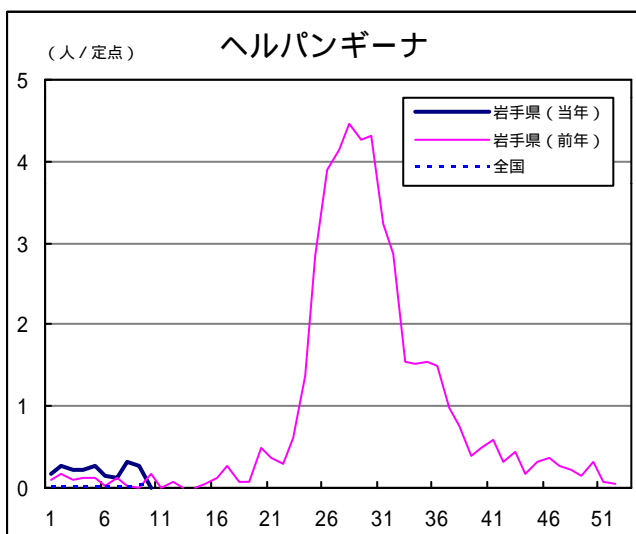
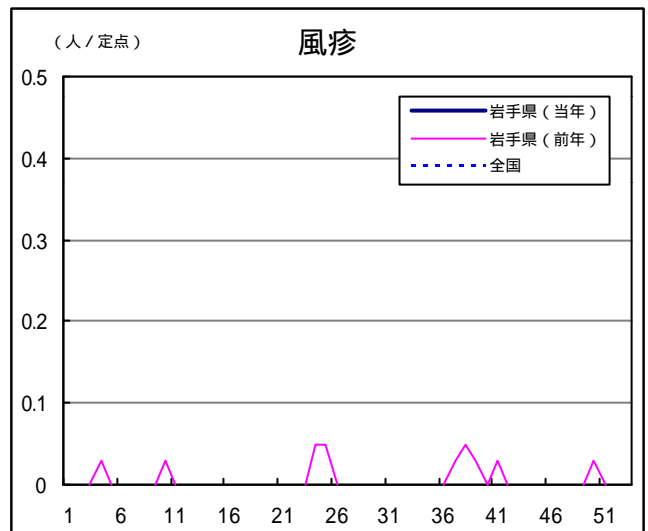
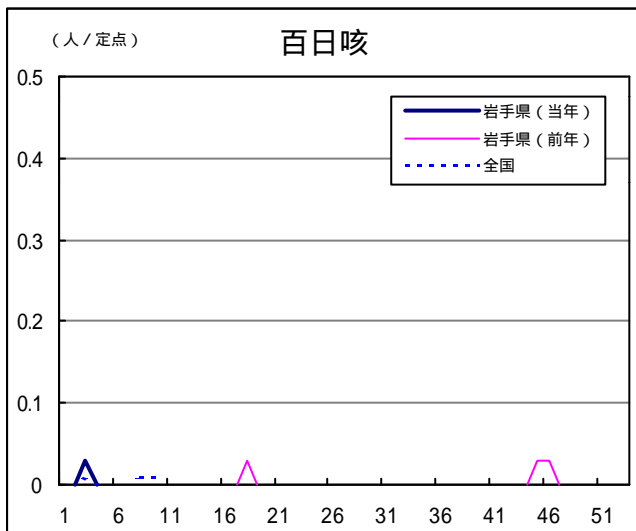
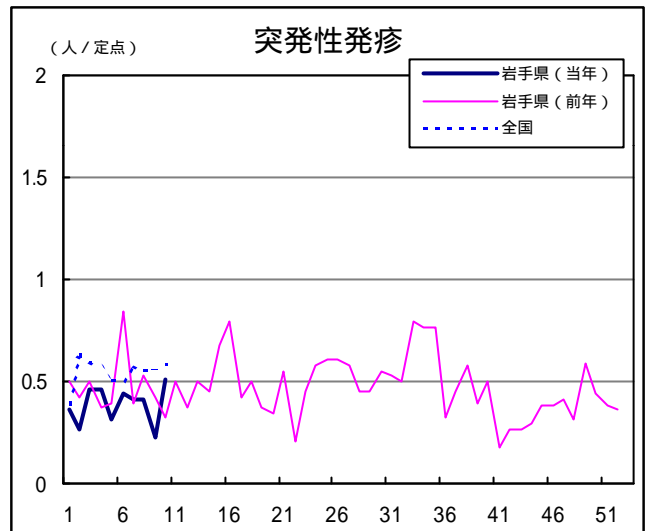
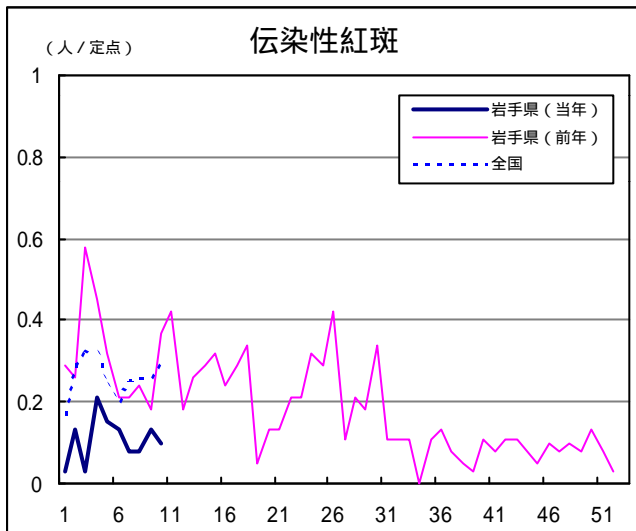
Q & A

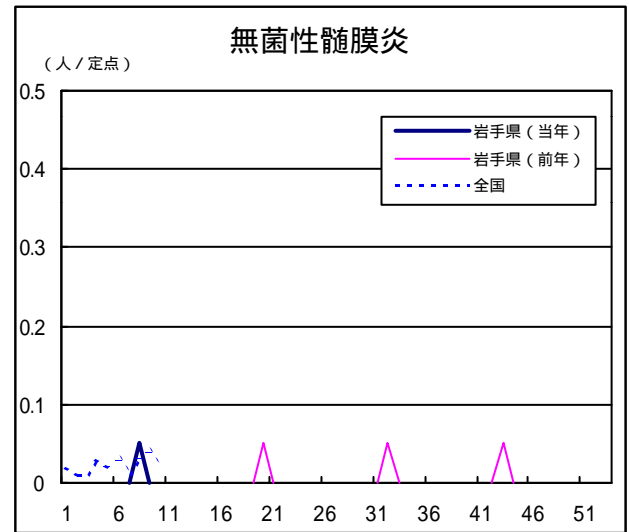
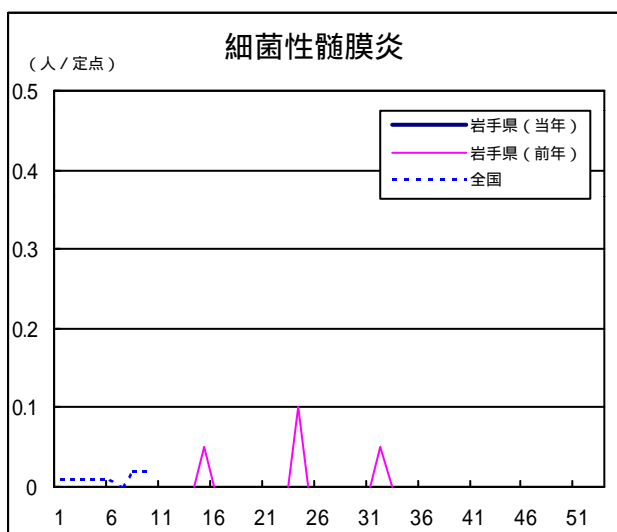
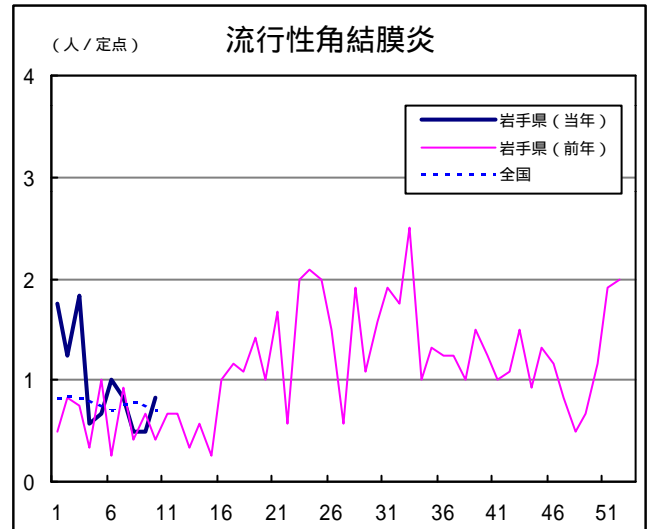
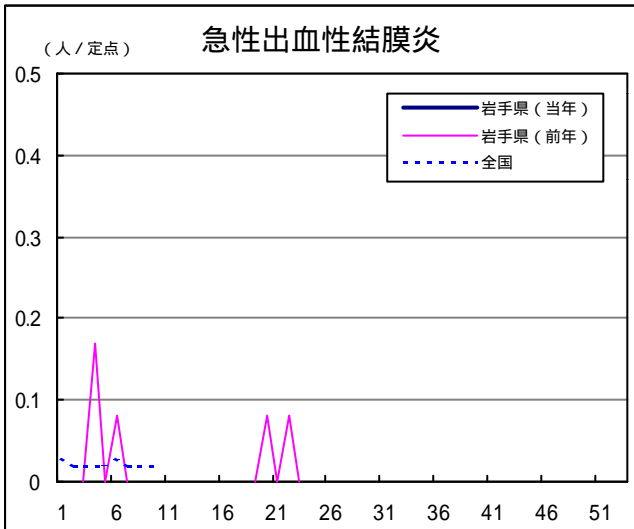
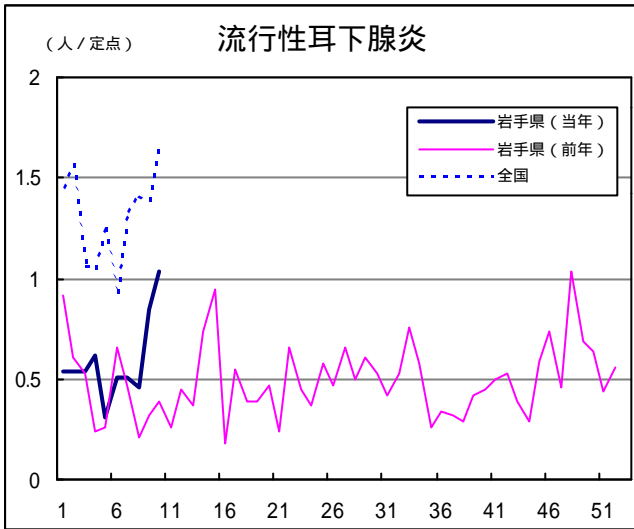
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

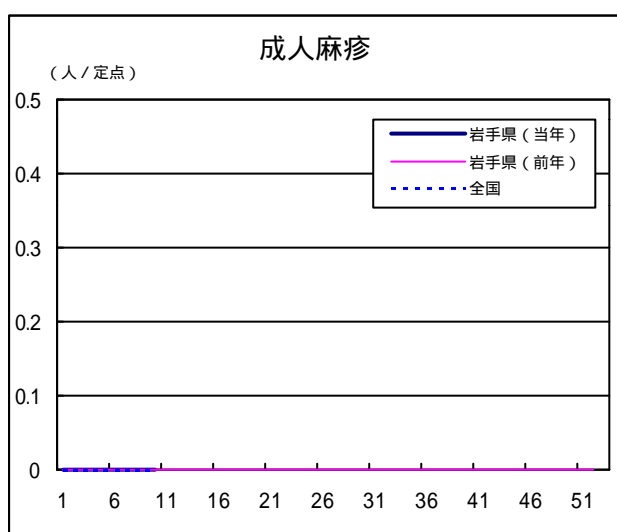
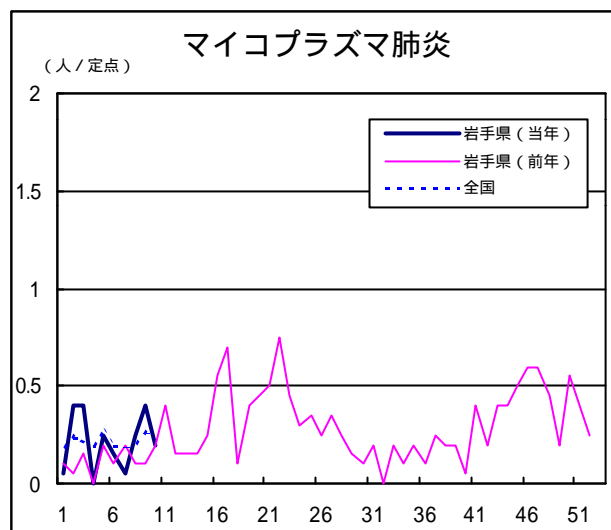
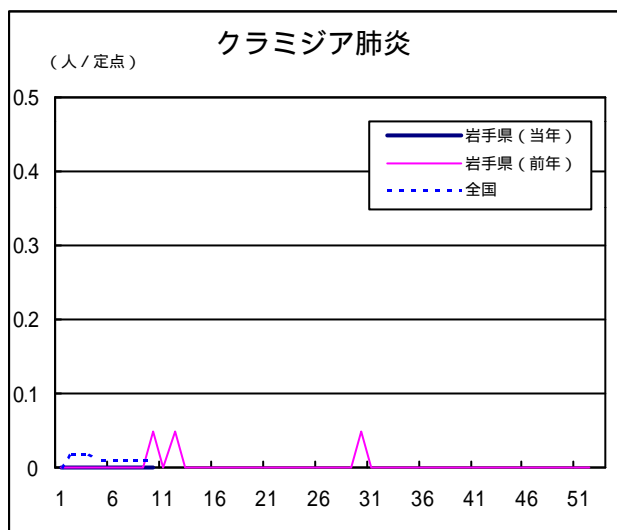
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
 岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	63	39	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成18年第10週 平成18年3月17日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 （岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>